

# 「阿部悠逸」江東区議選候補からの推薦依頼

## 【阿部悠逸の略歴】

昭和41年（丙午）11月22日生まれ、現在32歳。  
米国ニューヨーク市立大学卒業（文理学部数物理／経済学専攻）。大学・大学院を通して、米国に6年間在住。  
平成元年 米国PIN, Inc. 取締役主席副社長。  
平成3年 株式会社リクルート官公需担当。  
警察庁通信局／警視庁通信指令担当（全国緊急手配システム構築）。  
平成5年 衆議院公設秘書（細川総理より日本新党代議員に委嘱）。  
平成7年 区議会議員に28歳で初当選。  
平成9年 菅直人代表と民主党の結党に参画（民主党東京の初代幹事に就任）。  
区議会 行財政改革特別副委員長。  
環境保健／公共交通／防災対策委員／江東区基本構想審議会委員など。  
党務他 民主党東京幹事・広報副委員長（江東区支部幹事長兼務）。  
全国地域情報化議員連盟会長。  
全国若手市議会議員の会理事。  
平成維新東京副代表。  
インターネットアドバイザー。  
菅直人と創る未来塾事務局長、など。

## 【政策と決意】

### 1. 決意

戦後最悪の失業率と、長引く貸し渋り、相次ぐ企業倒産に、広がる生活不安……。その最大の原因は、一過性の特別減税や、その場しのぎの景気対策で明らかとなった、役人主導の後手、先送りの対応でした。リーダーシップのない政治、無責任な政治、一部の利権のための政治では、この大不況を乗り越えることは到底できません。

私は、政治家の口利きや、役人の口出しを、絶対に許しません。そして、安心して暮らし、子供を育て、夢を実現し、充実した老後を送れるような、生活者が主役の社会を築きます。

### 2. 政治姿勢

#### A. お金と無縁の政治を実践します。

特定の企業はもちろんのこと、個人からも、一切の政治献金を受け取りません。

#### B. 3期12年で引退します。

永年議員しか務まらない人は、その地位に執着し、選挙に勝つことだけが最終目的です。

### 3. 経済関係政策

#### A. 政治家の決断で景気は回復！

行政改革の徹底をはじめ、行政財産（主に普通資産）の売却や、課税所得最低限の見直しなどから生まれる財源をもって、恒久的な住民税・法人税の減税や、住宅ローン・教育費控除の拡大、情報通信インフラの整備します。

#### B. 東京には質の高い投資が必要！

従来の公共事業は、東京で集めた税金を、地方でばらまくために、無駄な豪華施設を次々と田舎に建設するという、自民党の利権政策でした。その結果、私たち都市生活者は、通勤地獄や、環境汚染など、大変な不便と不安を強いられています。

ダイオキシンなど環境対策をはじめ、南北交通網（城東→臨海副都心）の整備や、託児所・特養老人ホームは現在も不十分です。

#### C. 行革で年100億円のコスト削減！

利権議員が、役所の抵抗で、行革の矛（ほこ）をすぐに納めてしまうのは、いつも役人に無理な陳情をگری押しして、彼らに大きな借りがあからずです。

官と民の役割分担を明確化をはじめ、外郭団体の整理と天下りの禁止、公費視察と接待の廃止と、情報システムの高度利用などにより、年100億円のコスト（税金）が削減できます。

## 【阿部悠逸氏の推薦文】

来る4月地方選に際して、私たちの同志であります阿部さんが、二期目の江東区議会議員に立候補されます。付きましては、生活者主権の会（旧平成維新を実現する都民の会）の推薦を得たいとの事で、私（治田）が、下記の理由で推薦する次第です。

会員の皆様ご理解とご支援をお願いいたします。

1. 平成維新の会の時からの世の中を良くしようとする意志を持ち、共に行動してきた同志です。現在、当会の副代表であります。
2. 若くて、豊富な知識、情報を持ち、優れた判断力を持っています。
3. 非常にソフトで説得力もあり、良い意味の政治家向きであります。
4. 将来性もあり、先々は、国政への参画も望みたい人材です。

阿部悠逸・江東区議候補推薦人代表 治田桂四郎

# 「林明裕」調布市議立候補予定者からの推薦依頼

## 【立候補予定者趣意書】

前回の統一地方選挙において「平成維新の会」のご推薦もいただき、市政の場に送り出させていただ

て以来早4年近くを過ぎました。その間、多様化・高度化する市民ニーズに応えるべく、諸問題には正面から取り組んでまいりました。